

地域計画(案)

策定年月日	
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	和泉市 27219
地域名 (地域内農業集落名)	北池田地区 (泉財、久保出、願成、山深、中村、東阪本、室堂、伏屋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	50.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	27.7 ha
② 田の面積	37.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	12.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	28.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	8.9 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現状: ほぼ平坦な地形で、水田が多い。耕作放棄地が点在している。一部に入り組んだところが見受けられるが、比較的アクセスはし易い。

課題:

・ジャンボタニシ、鳥獣被害が多い。

＜ジャンボタニシ＞

浅水管理などの耕種防除、耕うんによる貝の破壊などの物理的防除、農業を用いた化学的防除等を組み合わせで実施する。

＜アライグマについて＞

忌避剤、捕獲檻の貸出、電柵(※)の設置検討。

電柵(※)=鳥獣被害防止総合支援事業(国事業)・・・受益戸数:3戸以上、補助率:直営施工は定額、請負施工は1/2以内、但し上限単価あり。

＜カラスについて＞

防鳥ネットの設置(果樹振興会で補助)、鳥よけスピーカーの貸出。

・異常気象による病害虫発生が増加。

病害虫の発生しにくい環境を整え、発生予察情報の把握により防除の要否やタイミングを判断し、適切な防除手段を実施する。

＜おおさかアグリメール＞

大阪府立環境農林水産総合研究所では、農家や農業関係者の皆様に技術情報などを送付する「おおさかアグリメール」の配信サービスを実施中(登録無料、通信費のみ発生)。

・経費増加による採算性の悪化。

減農薬、減化学肥料栽培による経費の節減。(多様な手法による防除の導入と、土壌診断結果に基づく肥料成分の施用量、施用方法を適切にし、効果的・効率的な施肥を行う。)

・耕作放棄地の増加

農業インフラの整備を検討するなど、担い手への農地の集積を拡大する。

・国からの支援(補助)。

地域計画の担い手に位置付けられることにより、ビニールハウスをはじめとした農業用施設・機械の導入や、経営資金の融資や助成などの支援を国から受けることができる。

・水路等の農業インフラの老朽化。

各種補助事業の活用による負担軽減。

・新規就農者は、地域の営農形態(水稻と畑)の違いや水利権の違いにより用水確保の調整が困難。
他地域からの新規就農者も貴重な担い手であることの地元理解の醸成と、新規就農者との意思疎通を活発に行うことにより、担い手の確保に繋げる。

・新規就農者に対する農地貸借の支援。
関係機関と連携し、貸し手と借り手の情報を集約化し、繋ぐことにより、新規就農者等が農地を借りやすくする。

・農地貸借の条件が合わず、規模拡大が難しい。
栽培品目や地域によって貸借条件が変わる傾向にある。特に、賃借料については、直近の標準小作料を参考に借り手の経営状況に応じた賃料の見直しを協議するとともに、本市では農用地区域における新規・継続の賃貸借権設定に対する支援策を検討中。

・近隣住民との関係性の問題。
農作業で発生する音や農薬散布により近隣住民から苦情が生じる場合があるため、作業実施時間の考慮と、近隣住民に対する周知に努める。

・補助金等の情報発信と集約化。
補助金等の情報について、分かりやすい形での発信に努める。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・パイプライン、農道、ほ場整備の実施を検討。
地元農業関係者の合意形成を図り、整備計画の内容に応じた国、府、市の各種補助事業を活用することによって地元負担を軽減する。

・夏の暑さに強い作物を導入したい。
高温に強い品種について、関係機関と連携しながら情報提供に努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針				
農地中間管理機構への貸付けを進め、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。				
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標				
現状の集積率	17	%	将来の目標とする集積率	17 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標				
担い手が利用する農地は、184筆、平均7a(令和6年度時点)				
担い手と経営規模の維持に努める。				

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域での話し合いにより、農業委員をはじめ関係機関の調整の元、貸出意向の農地所有者に対する働きかけを行い、担い手への農地の集積を推進する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手への集約や、新規就農者等への誘致・転貸を推進する。
(3)基盤整備事業への取組
地元農業関係者の合意形成を図り、整備計画の内容に応じた国、府、市の各種補助事業の活用を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、関係機関と連携しながら担い手を確保する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
個々の状況に応じ、農作業委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①有害鳥獣の対策として、電柵、防鳥ネット、鳥よけスピーカーの設置や貸出しを検討。
⑧各種補助事業を活用した農業インフラの整備・維持管理を実施。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			別紙のとおり			ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	AX	
2	認農		果樹	0.1 ha	ha	果樹	0.1 ha	ha	AAI	
3	認農		水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	AAJ	
4	認農		水稻	3.4 ha	ha	水稻	3.4 ha	ha	AAL	
5	認農		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	AAM	
6	認農		野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	AAN	
7	認農		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	AAS	
8	認農		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	AAW	
9	認農		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	ABA	
10	認農		水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	ABJ	
11	認農		野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	ABK	
12	認就		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	BC	
13	認就		野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	BG	
14	利用者(大阪版)		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	DF	
15	利用者(大阪版)		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	DI	
16	利用者(大阪版)		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	DK	
17	利用者(大阪版)		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	DL	
18	利用者(大阪版)		野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	DX	
19	利用者(大阪版)		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	DAC	
20	利用者(大阪版)		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	DAD	
21	利用者(大阪版)		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	DAK	
22	利用者(大阪版)		野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	DAS	
23	利用者(大阪版)		野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	DAW	
24	利用者(認就志向)		野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	HD	
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
	計	0経営体		12.0 ha	ha		12.0 ha	ha		